

令和4年（2022年）4月1日発行

新入生の皆さんへ 理事長からのメッセージ

日本工業大学に入学された皆さん、学園を代表して心より歓迎いたします。ご家族の皆様、まことにおめでとうございませう。

技術を学び、ものづくりをし、社会を豊かにし、人々に喜びをもたらす。その第一歩が、今、始まります。そして皆さんのそうした技術への思いをプロフェッショナルへとつないでいく環境を整えていくのが私たちの務めです。キャンパスには、研究・実習設備、博物館をはじめ、いたるところに技術の学びを刺激するものが用意されています。どうぞ、緑豊かなキャンパスを散策しながら、楽しんでください。自分の関心領域をよ

技術と人への
眼差しを理事長
柳澤 章

り深めるだけでなく、今までまったく興味がなかった分野に目が開かれることだってあるかもしれません。そここそが本学の醍醐味といえます。

講義は対面とオンラインのハイブリッドで進められてい

ます。このスタイルはすでに3年目を迎え、先生方と学生たちとで様々な試みが蓄積され、新たな学び方の可能性が追求されています。そうしたところからもDX（デジタル・トランスフォーメーシヨ

ン）のセンスは育まれます。今日、技術の進歩は空飛ぶタクシーが現実のものとなる日も遠くない見通しであったり、仮想空間でのビジネスがすでに展開されていたり、SF映画のようにも思えますが、皆さんはいかがでしょうか。

何が、どのような技術が社会を豊かにし、人々に喜びをもたらすのか。

その考え方の基本にあるのがSDGsです。地球の有限性を認識し、より良い生活のための開発努力を、環境・資源の持続可能性をふまえて進めて行く、これからの世界にとって最も必要とされる考え方です。持続可能性の課題は地球温暖化、大規模自然災害

の多発、エネルギー問題など密接に絡み合い、切迫しています。SDGsには、国連を中心として、企業等あらゆる階層が参加しています。SDGsに取組む大学も多くあります。本学の取組みにも、是非参加してみてください。

皆さんはどのような技術を身につけることを望んでいますか。技術と人との両方を注視し、人々が技術とともに歩んだ足跡をたどることから、今、求められているものが見えてくるのではないのでしょうか。そして何よりも好きなことをとことん探究することがエネルギー源で、少しぐらいの失敗も痛くはないでしょう。応援しています。

ようこそ

実工学のキャンパスへ

新入生の皆さんへ 学長からのメッセージ

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

日本工業大学は社会課題に取り組み「人に寄り添う技術者」の育成を目指しています。自分の得意なことと社会に貢献したい、人を笑顔にしたい、そんな想いに満ちた皆さんの夢をかなえる様々な出会いや気づきが本学にはあふれています。本学独自の「人と暮らしの支援工学センター」は、課題解決に果敢にチャレンジする、そんな学生たちの活動をサポートしています。

「大学で学ぶべきこと」とは何でしょう。色々な答えがあると思いますが、私は「社会で生き抜くための武器（専門力）を持つこと」「物事を

他者に共感できる
想像力を磨け学長
成田 健一

深く多面的にとらえて、自分の頭・自分の言葉で考えて答えを出す力（人間力）を身につけること」を考えています。社会では、大学で「何を学んだか」ではなく、皆さんが具体的に「何を身につけたか」

が増えること、以前見えなかったものが見えてくること、すなわち自分という「器」作りです。「艱難汝を玉にす」という言葉がありますが、成長は奮闘の後に結果的に得るものです。努力なくして成長はありません。もちろん世の中には努力が結果に結びつかないこともあります。しかし、結果はウソをつくことがあっても、プロセスはウソをつきません。プロセスは自分の中で着実に積み重ねる財産になります。むしろ多くの失敗や負の体験が生きる厚みをつくる。私はそう思っています。

成長のためのもう一つの鍵、それはなるべく異質なものに触れる機会を（exposure）。

デジタルネイティブと呼ばれる皆さんは、ネットを駆使して情報を得ることは長けています。思いですが、重要な必要情報はしっかりと見極める力です。皆さんの閲覧履歴からシステムが自動的に選り出すサイトだけを見ていたのでは、今の自分の殻を破ることはできません。そして、大学では普段合わない人と、どんな知り合いになっても、自分とは違う立場の人が何を考えているのか、その人の感情や考えを想像する能力（empathy）を磨くことがとても重要です。

最後に、成長のエンジンは皆さんの「知的好奇心」です。Always be full of curiosity!

先進工学部 データサイエンス学科開設！

ものづくり力×データ分析力
新たな価値を創造できる人材を育成

本学はデータサイエンスの知識や技術を活用して問題発見や解決につなげる人材の育成を目的として本年4月、先進工学部にデータサイエンス学科を新設した。

近年、パーソナルデータをはじめとする各種データは貴重な「資源」といわれている。日々蓄積される膨大なデータを分析し、目的に合わせて活用することは国家や自治体、企業の発展に必要不可欠となっている。

そうした背景のもとで注目されているのが、収集されたデータを統計手法や情報技術を駆使して分析し、社会や経済にとって有用な知見を得ようとする学問領域「データサイエンス」である。そして今、その能力を身につけたデータサイエ

ンティストのニーズは、あらゆる産業分野において急速に高まっている。本学では半世紀以上にわたり、伝統の実工学教育によって学生の「ものづくり力」を育んできた。これに「データ分析力」を付加することで、本学ならではの「新たな価値を創造できる人材」の育成を目指していく。

学科担当教員にはITや通信関連等の企業において実務経験豊富な教員も多数在籍しており、本学の特徴である実践的な教育を行う体制を整えている。

システムデザイン系

ソフトウェア工学

糸野 文洋 教授
要求工学やソフトウェア設計手法、IoTやAIを使った応用システムの開発等を研究しています。



通信トラヒック工学

吉野 秀明 教授
IoTシステムや情報通信ネットワークのビッグデータ解析、性能評価、設計が専門です。



ワイヤレスネットワーク

高瀬 浩史 教授
無線通信やレーダ、センサネットワーク、IoTシステムなどを研究しています。



知能ソフトウェア工学

橋浦 弘明 准教授
ソフトウェア設計、プログラミング、ソフトウェア工学教育に関する研究を行っています。



人工知能系

計算知能化

辻村 泰寛 教授
計算知能とは「機械独自の知能」を創造することで、その基礎研究を行っています。



複雑系工学

佐藤 進也 教授
ウェブ上の大量のデータを知能の仕組みを応用して知識に変える方法を研究しています。



人間-機械協調系

荒川 俊也 教授
自動運転時のヒューマンファクタ研究や機械学習・統計科学の社会応用を進めています。



インテリジェントシステム

伊藤 暢彦 准教授
映像・AI・IoTを軸に社会システムのスマート化に向けた研究開発を行っています。



データアナリシス系

経営情報システム

大宮 望 教授
映画の興行収入やDVDジャケットの色彩や台詞に関するデータ分析の研究をしています。



情報数理

北久保 茂 准教授
画像を解析して、隠れている情報を数理工学的手法で分析・考察する研究を行っています。



最適化アルゴリズム

松浦 隆文 准教授
複数の条件が課せられた状況の中で、最適な解を得るアルゴリズムの研究を行っています。



イメージアニメ

学科紹介動画



皆様のご入学を心より歓迎します！

教務部長からのメッセージ

皆さんは「VUCA」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。これは、Volatility(不安定さ)・Uncertainty(不確定さ)・Complexity(複雑性)・Ambiguity(曖昧性)の頭文字をとったものです。あらゆることからいって未来を見通しにくくなった現代社会の状況を表すもので、既存の価値観やビジネスモデルなどが通用しない時代が到来したことを象徴する言葉です。

「既存」という概念が通用しなくなるVUCA時代の社会において必要とされる能力は、「生き延びる力」です。ジョブ型採用が浸透していく社会では終身雇用制は終焉を迎え、いずれはキャリアアップのためにより良い企業へと移ってゆく時代が来



VUCAの時代に向けて

教務部長・教授 辻村 泰寛

ることでしょう。そのためには、いわゆる社会人基礎力に加え、「新たな価値を創造する力」「責任をとる力」。「緊張関係やジレンマを調整する力」が必要とされています。特に「新たな価値を創造する力」を持つ人材をインベション人材とも呼びます。インベションとは、既存の技術を組み合わせてこれまででない新しい価値を創出することで、自分の専門に関する深い知識・技能に加えて、工学のみならず様々な分野に関する知識が必要です。皆さんも、是非、日本工業大学での4年間で、自分の専門に加えて、幅広い知識を身に付ける努力をしてください。さあ、学園生活を楽しみながら、頑張らしましょう。

学科長・学群長からのメッセージ

機械は時代に合わせた日々進歩しています。これから生み出される機械も、私たちの暮らしが便利で豊かになるように発展し続けるでしょう。未来を支える



機械工学を学んで社会に役立つ

学科長・教授 二ノ宮 進一

機械工学で学ぶ内容は、時代に合わせて変化してきました。機械工学を軸とした普遍的

な学問を勉強しつつ、新たな分野にも柔軟に対応できる能力を磨いて欲しいです。本学科のキャリアは、伝統と最先端が融合し、経験豊富な教員によって、皆さんを実践的に優れた機械系エンジニアへと導きます。また、研究室の先進的な研究は、新しい技術へのチャレンジ精神を養います。

先進工学部 ロボティクス学科



未知を既知にして機知のたねに

学科長・教授 安原 鋭幸

皆さんの高校生活が佳境に入る頃、新型コロナウイルスのために様々な面で制限がかけられ、物足りなさを感じたことと思います。何より、ウィルスに関して未知であることが混乱をもたらしたと思われま。2年経った現在は様々なことが既知になったことで、対策が定まり、行動に若干の余裕がはじめています。皆さんの大学生活は、様々なことにチャレンジして将来の余裕をつくり出す期間にしてください。大学時代に未知を既知にして、機知のたねを蒔いてください。

先進工学部 情報メディア工学科



有意義な学生生活をおくるために

学科長・教授 新井 啓之

ご入学に際し、皆さんに2つお願いしたいことがあります。一つ目は、「友達を作る」ことです。このコロナ禍の中、難しいことあるかと思いますが、でも、構いません。やりたいこと、どうしようかな、と迷った時は、是非チャレンジしてみてください。成功しても失敗しても、そのチャレンジは皆さんの人生において無駄にはなりません。がんばってください。

先進工学部 データサイエンス学科



なぜデータサイエンスを学ぶのか

学科長・教授 桑野 文洋

データサイエンス学科は今年度からの学科です。皆さんはその一期生、つまり先輩はおりません。後輩はいません。と、聞いても突然生まれた学科ではありません。情報メディア工学科から分かれた学科です。純粋な先輩はいないけれども、プログラミング等を教えてくれる情報メディア工学科の先輩はたくさんいます。重なる学びも送ってください。

共通教育学群



学べる大人になろう

学群長・教授 佐藤 杉弥

この4月から18歳が成年とされます。みなさんは初の「大人世代」新入生ですね。契約の自由など権利が増す一方、リスクや責任を負うことにもなります。大学では、工学全般の基礎で必須の科目、専門外にも幅を広げる科目が用意されています。自由も制約も多くありますが、学べる大人へのスタート地点です。自ら学べることは多様な面で選択肢を広げます。皆さんが楽しみにしながら将来の糧を学べるように、応援していきます。

基幹工学部 電気電子通信工学科



将来の生活を支えるために今

学科長・教授 上野 貴博

電気・電子・通信情報、皆さんが普段生活する上で無意識に利用している技術、生活を便利にするだけでなく生活維持のために必要不可欠です。最近では「オンライン会議」や「電気自動車」も耳にすることでしょう。今後、これらは、あってもあたりまえ、言い換えれば、なくてはならない技術と言えま。皆さんはこの技術を学び、将来どの分野で活躍していくかを、学生生活の中で発見してください。

基幹工学部 応用化学科



次の時代へ

学科長・教授 大澤 正久

私たちの身の周りの物は全て原子、分子から構成される化学物質です。ですから皆さんがこれから4年間学修する化学の対象はとて身近な物なのです。社会における化学の役割や責任は時代と共に変化してきました。経済成長を最優先とした90年代半ばから公害問題の露呈により環境保護の面立を求められたよう学科教員がサポートします。

建築学部 建築学科



24研究室の建築学科

学科長・教授 佐々木 誠

今年も桜の季節が訪れ、新入生の皆さんを迎えます。これからは環境を生かして、4年じまる大学生活は、知識だけでなく、仲間を得て、たくさんの経験を4年間でします。そして、皆さんの経験をする4年間となります。ぜひ、先生方に気軽に話しかけて交流してみてください。きっと、建築の幅の広さや懐の深さを知ることができるといいます。全力でサポートする準備は整っています。4年後に飛躍したあなたが再び桜の季節を迎えられますように。

学生支援部長からのメッセージ

学生の明るい笑顔と春陽が大学を彩る季節がやってきました。新入生の皆さんとご家族の皆様は大きな期待を胸に、その一方で幾ばくかの不安を感じておられると思います。しかし、まずは安心して大学を頼って下さい。本学では、教職員が連携して、皆さんの大学生活をしっかりと支えてゆきます。さて、世界的なIT企業の一つであるApple社の創業者スティーブ・

ジョブズは、次のような一言を残しています。「将来をあらかじめ見据えて、点と点をつなぎあわせることができない。できるのは、後からつなぎ合わせるだけだ」つまり、今やれることをやる、「点」を確固たるものにする、皆さんの選んだ専門分野や趣味などに打

ち込むことが大切です。そしてもう一つは、「点」を増やすことです。難しいことはありません。偶然の出会いを楽しんで下さい。好奇心を持って行動する、何かを始めてみる、それだけで皆さんの手の中の「点」は増えてゆくはず

「点」は自ら助くる者を助く

学生支援部長・教授 中野 道王



の数々は、皆さんの人生を豊かに彩るに違いありません。大学生活は、そんな「点」を増やすためのチャンスに溢れています。委員会・クラブ・サークルなどの課外活動や、教職員や友達との交流から、新しい「点」を発見して下さい。未来のどこかで振り返った時に、本学で見つけた「点」が、皆さんの人生の中で光り輝いていることを願っています。

私たちが皆さんの大学生活をサポートします!!



学生相談室
川合 耕一郎

専門家による心理相談を通じて、皆さんの学生生活をサポートしています。状況に応じて対面相談だけでなくオンラインでの相談にもお応えします。ひとりで抱え込まずにぜひお気軽にお越しください。保護者からのご相談にもお応えしています。



学修支援センター
岩崎 利信

学修支援センターは「分からないところをそのままにしない」を合言葉に、学習指導、履修方法、生活全般の相談に対応しております。何かありましたら本センターに来てください。チューター、スタッフと一緒に解決しましょう。



学生支援課
齊藤 望

クラブ活動や人との交流を通じて、「コミュニケーション能力」「主体性」「チャレンジ精神」が培われます。皆さんもぜひ参加しましょう。学生支援課では、“withコロナにおける「普通」のキャンパスライフ”が送れるよう支援しています。



教務課
穴井 正洋

教務課は、これから皆さんが4年間の学生生活を安心して学業に取り組むことができるようにサポートします。学業に関して疑問や不安に思うことがありましたら、一人で悩まずに、気軽に教務課に相談してください。



就職支援課
塩入 修

未来の自分は、あなた自身が作るもの。未来は今後の過ごし方によって大きく異なります。より良い人生を過ごすため、多くの人に出会い、様々な体験を積み重ねましょう。スタッフ一同、あなたの就職活動を支援します。



LCセンター
黒津 高行

20万冊の図書と魅力的な空間を持つ施設です。スマホに時間を奪われがちの日常ですが、授業の合間に穏やかで静かな環境の当館で本や雑誌を開いてみませんか。さらなる知識や教養、集中力や判断力を身に付けることが期待できます。(https://library.nit.ac.jp)



スチューデントラボ
櫛橋 康博

スチューデントラボは、発想を自分の手で形にできる場です。機械加工、電子工作、木材加工に必要な道具や工作機械を揃え、個人・団体、学年問わず、専門職員による指導も受けられます。積極的に活用し、「ものづくり」する楽しさを体験してください。



健康管理センター
松井 克典

健康管理センターは、学生及び教職員の健康相談や応急処置、運動指導を担当します。原則毎週水曜日には、校医による健康相談も実施していますので、気楽にお越しください。また、定期健康診断を受診した学生には、健康診断証明書を発行します。



NITクリエイト
西垣 昌彦

NITクリエイトは、学生食堂・売店の運営、さらにはアパート斡旋、資格取得支援、保険代理店、学内の清掃・警備等の業務を行っており、学生の皆様が充実したキャンパスライフを送れるようサポートします。詳細はHPをご覧ください。



財務課
鈴木 史朗

財務課は、学費収納及び経理全般に関する業務を行っております。学費に関するご相談（延納含む）、両替等はお気軽に窓口にお越しください。笑顔の職員がお待ちしております。皆様の学生生活が充実に送れるよう全力で支援、サポートいたします。



学園情報システム部
石井 一浩

パソコンは、学生生活に欠かせない必須のアイテムです。活用することによって、学生生活はさらに充実するでしょう。パソコンについてわからないこと、困ったことがあったら、ぜひ学園情報システム部まで連絡または相談にいらしてください。



英語学習サポートセンター
池添 泰弘

当センターは、旧英語教育センターの機能を強化した形で4月に発足しました。明るいカフェのような部屋です。TOEIC受験、留学、英会話の練習などをサポートしています。ここに来れば、予想もしていなかった素晴らしい未来が見えてきますよ。

学生自治会中央執行委員長からのメッセージ

有意義な時間を



電気電子
通信工学科3年
高橋 優真

私は皆さんが学生自治会の一員として仲間入りされたことを衷心より歓迎致します。さて、大学生活はこれまでと異なり自由度の高いものです。自由な環境では目標がないと時間を無駄にしたと後悔する可能性があります。

まず。よって、皆さんには大きな目標を掲げ、それを推奨致します。学問に取り組むのは当然とし、新たな挑戦を試みてはいかがでしょうか。資格試験やアルバイト、ボランティア活動に励むのも良いです。

しょう。または、委員会や部活サークルに所属し課外活動に努めるのも良いのではないのでしょうか。これら活動の過程で出会う友人や培った経験は大学生活の中だけではなく、今後の人生でも大いに役立つはずです。我々、中央執行委員会をはじめ、学生自治会は皆さんの大学生活を支え盛り上げられるよう今後とも活動して参ります。興味がある際はいつでもお気軽にお越し下さい。最後になりますが、皆さんが自身の成長のために様々な事に取り組み、4年後に少しでも後悔のない時間だったと思えるようになる事を期待致します。以上、新入生歓迎の言葉とさせていただきます。

目標達成には目的が重要

大学院技術経営研究科・教授 萬代 憲司

専門職大学院だより

2022年度が始まり、専門職大学院にも、18期生が入学した。それぞれの目標をもちながら一年間の学生生活が始まるわけである。一年後には、是非目標を実現してもらいたい。その目標達成のためには何が必要かを、記憶に新しいオリンピック・パラリンピックで考えてみたい。

コロナ禍の中で夏季・冬季オリンピック・パラリンピックが一年の間に開催され（今後、一年以内に開催されることはないであろう）、日本選手活躍に心が躍り、我々の心を揺さぶるシーンが多かった。多くの選手にとっての目標は、金メダルを取ることであったであろう。その目標を達成するために、最大限の練習をして本番を迎えた。では練習だけで十分なのか？

我々が意識を活性化し、自ら行動に駆り立てるためには、目標を達成した結果として、どのような状況に

なりたのかという「目的」をイメージ化することが重要である。金メダルを取った時の自分の気持ち、その時に誰がいて、どのような状況になっているのかを具体的にイメージすることにより、「わくわく」した気持ちになり、脳が活性化して目的達成のために持続的行動をすることが可能となる。目標は「思考」で設定し、目的は「感情」で設定するとも言える。

では、「本年度の皆さんの目標は？」と聞かれたら明確に答えられるだろうか。目標が明確になったら「あなたの目的は何か？」と聞かれたらどうだろう。目標達成時点の具体的なイメージが出来あがっていて、自分の中にわくわく感がでいるだろうか。是非、本年度の目標を設定し、具体的な目的により実現して、充実した年度にしたい。

日本工業大学学業奨励奨学金(新2・3・4年生) 大川陽康奨学金受給者

学業奨励奨学金は学業成績・人物ともに優秀な学部生を対象とし、エクセレントスチューデントに年間50万円、リマーカブルスチューデントに年間20万円が給付される。大川陽康奨学金は同じく大学院生を対象とし、年間20万円が給付される。

2022年度 日本工業大学学業奨励奨学金受給者

ES：エクセレント スチューデント			
年次	2年次	3年次	4年次
学部	氏名（出身校）	氏名（出身校）	氏名（出身校）
基幹工学部			
先進工学部			
建築学部			
RS：リマーカブル スチューデント			
年次	2年次	3年次	4年次
学部	氏名（出身校）	氏名（出身校）	氏名（出身校）
基幹工学部			
先進工学部			
建築学部			

2022年度 日本工業大学大川陽康奨学金受給者

専攻	氏名（出身校）	専攻	氏名（出身校）
機械システム工学		電子情報メディア工学	
環境共生システム学		建築デザイン学	
電子情報メディア工学			

◆橋本友紀嘱託職員（学生支援課）
◆安野由加嘱託職員（N I T・EMS本部）
◆日下部恵美子嘱託職員（LCセンター事務課）
【昇任】（4月1日付）
◆山口剛講師（共通教育学群）
【異動】
◆齋藤早紀子専任教育講師（共通教育学群）
【任命】（4月1日付）
◆学長補佐 竹内貞雄教授
◆学長補佐 小田恭市教授
◆大学院技術経営研究科 清水弘教授
◆大学院技術経営研究科 教務委員長 五十嵐博一教授

◆生涯学習センター長兼 担 瀧ヶ崎隆司教授
◆地域連携センター長兼 担 佐々木誠教授
◆企画広報室長兼 秋

◆就職支援課主任 日下部真樹
【配置換】（4月1日付）
◆田中大介施設環境管理課長
◆法人本部へ異動
◆嘉山健総務課員
◆道家里子就職支援課員
◆入試室に異動
◆吉岡俊二法人事務局員
↓総務課に異動
【解任】（3月31日付）
◆先進工学部長 辻村泰寛教授
◆ものづくり環境学科長 丹澤祥晃教授
◆留学生別科長 八木田浩史教授
◆IR室兼務 水谷耕平
【退職】（3月31日）
◆井上直事務職員（IR室）



が近年問題視されており、使用規制が始まっている。本研究の加工法を用いれば、環境負荷を大幅に低減

機械システム工学専攻 博士前期課程2年（古閑研究室）の堀圭佑さんが、低環境負荷の潤滑油を用いてダイヤモンドコーテッド工具によるステンレス鋼板の深絞り加工。深絞り加工は金属板成形法の1種で、1枚の金属板を金型で挟み込み、

日本塑性加工学会 優秀論文講演奨励賞受賞

させながら塩素系潤滑油を用いた場合と同等の成形が可能となる。受賞に際し堀さんは「大学院まで続けてきた研究成果が評価され感激している。古閑教授をは

国内屈指の技能競技大会 県代表として出場

12月17日から20日にかけて開催された第59回技能五輪全国大会に建築学科建築コース1年（当時）の川嶋涼太さんが出場した。同大会は青年技能者の技能レベル日本一を競う国内屈指の競技大会で、東京ビッグサイト他14会場で開催。各都道府県から選抜された1000名以上の選手が42の競技種目で技能を競った。



川嶋さんは「建築大工」種目の群馬県代表として出場。課題は、複雑な形状の木造小屋組を12時間（2日）で製作し、

製作技術や仕上がりの正確さを競う。全国大会とあって課題難易度はかなり高く、時間内の完成も困難なほどであった。

大型野球盤の対戦試合 遠隔操作システムを開発

12月26日、本学を会場として「第一回ユニバーサル野球日本選手権大会」が開催された。



全国大会は本学の野球盤を遠隔操作して対戦

サル野球日本選手権大会が開催された。ユニバーサル野球は年齢、性別、障がいの有無にかかわらず誰もが平等に対戦可能な野球盤を使ったスポーツで、堀江車輛電装（東京都千代田区）が特別支援学校小学部に通う野球好きの少年

との出会いをきっかけに発明（特許第6729956号取得）したものである。コロナ禍により、これまでのように日本各地の特別支援学校や障がい者支援施設、小学校等では授業やイベントを開催することが難しくなっ

トを打つ」ボタンを押すと、実際の野球盤のバットを振ることができる。当日は広島、東京、長野、埼玉、北海道の各地から、障がいを持った子供とその家族のチーム、高校球児チーム、国立障害者リハビリテーションセンター学院チームなど計8チームが参加。全チームともオンライン参加であったが、試合は大会に盛り上がった。遠隔操作システムは大きなト

人事異動

【名誉教授任命】（4月1日付）
◆石川豊教授
【任用】（4月1日付）
◆小井川明良教授（専門

保護者のための
就職ガイダンス

学部2年・3年生
大学院1年生
の保護者対象

5/21(土)
会場:5号館

入場無料

町代より
宮代
235号

宮代町のSNSを
チェックしよう！

新入生の皆さん入学
おめでとうございま
す。自然環境に恵まれ
た宮代町で、これから
の大学生活を大いに楽
しんでください。

町の情報は、公式
ホームページのほか、
@miyashiro-
machi

ツイッターやLINE
で発信しています。
観光情報や暮らしの
情報、四季折々の風景
など、ホームページだ
けでは伝えられない情
報をお届けします！

◆大学院技術経営研究科 中小企業診断士登録養成課程主任 小林克准教授
◆先進工学部長 吉野秀明教授
◆データサイエンス学科 長 糸野文洋教授
◆建築技術センター長兼 担 片岡誠教授
◆総合研究センター長兼 担 渡部修一教授
◆先端材料技術研究セン